



はばたき！ ～より大きく、より高く～

冬を楽しむ春隣！

今年2月初旬まで、スキー場には雪があり、里にはあまり雪が降らない恵まれた冬だと思っていました。しかし、2月第1週目に来たいわゆる「この冬最大級の寒波」によって、毎日グラウンドも雪景色となりました。地域の方々には、校門から玄関前までの通路、職員駐車場等、除雪をしてくださり、本当にありがとうございました。ところで、子ども達は元気なもので、毎日夜のうちに降ってきた新鮮な雪を翌日には存分に楽しんでいました。立春も過ぎてからの寒波到来でしたが、今後もまだまだ雪や凍結による事故やトラブルも懸念されます。十分気をつけてお過ごしください。



2月第1週目～2週目にかけては、真っ白になったグラウンドで、子ども達は雪を楽しみました。休み時間になると、子どもたちは早速、運動場に積もった雪の中へ元気に繰り出します。雪だるま、雪の滑り台などを作ったり、雪投げをして遊んだりしていました。雪遊びができる服装もお家の方に準備していただいたようです。子どもたちにとって、こうした遊びも1年の内の数日、できるかできないかの体験です。雪が降るといろいろ大変なこともあります。考え方によっては、雪が降る地域の子どものために貴重な体験と言えるのではないのでしょうか。低学年では、生活科の授業でも雪を思う存分に楽しみました。



スキー教室を実施しました。〔1月24日（金）〕

今年、あまり積雪の量を心配することなく、スキー教室を迎えることができました。お陰様で、雪と天候にも恵まれた中、予定通り実施することができました。伊佐小学校では、4年生以上でスキー教室を実施しています。スキーが初めて、スキーは苦手という児童も、履き慣れないスキー靴やスキーを履いて、悪戦苦闘していましたが、午後からはリフトに乗って緩斜面を滑ることができるようになりました。みるみる上達する子ども達のおかげで、すごいなと感心しました。「楽しかった。」「上手になった。」という声もたくさん聞くことができました。このスキー教室には、保護者の方5名にも指導ボランティアとして協力いただきました。お忙しい中、子どもたちにご指導いただき、ありがとうございました。お陰様で、楽しく充実したスキー教室となりました。



